魚津高校２学年　　現代社会　シラバス

教科･科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・現代社会	普通科2年	2	高等学校　改訂版 現代社会（第一学習社）	最新現代社会2022（第一学習社） 改訂版 現代社会ノート（第一学習社）
科目の概要と目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて広い視野に立ち、現代の社会と人間についての理解を深めさせ，現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			

単元	学習内容	到達度目標
私たちの生きる社会	①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③科学技術の発達と生命倫理 ④高度情報社会と私たちの生活	･様々な環境問題,資源エネルギー問題と人間の活動とのかかわりについて理解し,よりよい環境を次の世代に引き継ぐためにどうしたらよいか考える。科学技術の発達が社会や生活をどのように変えてきたのか,情報化の進展が社会に及ぼす影響について考える。
現代に生きる青年	①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活	・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか，青年期の心理の特徴について理解し，一人前の人間として自立するためには何をしたらよいかを考える。
個人の尊重と法の支配	①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制	・私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め，国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。 ・基本的人権が保障されるにいたった経緯を，さまざまな情報手段で資料を収集し，具体的事例をあげて考察し，理解する。 ・世界のおもな政治体制について理解する。
現代の民主政治と政治参加の意義	①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権保障と新しい人権 ④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障 ⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加	・日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較，天皇の地位の変化，日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 ・日本国憲法の平和主義の特色と自衛隊，日本の安全保障については，さまざまな立場からの意見があることを理解する。 ・自由権の意味や，社会権が私たちの生活をどのように変えたのか，新しい人権とは何かをさまざまな立場にたって考察する。 ・国会の地位と構成，権限について理解する。 ・議院内閣制のしくみと行政の民主化について理解する。 ・地方自治に住民はどのような権利をもっているか，また，地方自治のもつ課題について，自分自身の問題として具体的に考察し、理解し，その知識を身につけている。
国際政治の動向と日本の役割	①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤地域紛争と人種・民族問題 ⑥国境と領土問題 ⑦外交政策と日本の役割	・国際法の意義と役割について，多面的に考察し，理解する。 ・国連の役割と課題について理解する。 ・第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について，年表を使って整理し，理解する。 ・核兵器を廃絶するには何が必要かを考え，核兵器の開発・拡散の状況，廃絶するためのさまざまな取り組みについて，多角的に考察する。 ・核兵器の問題についての知識を身につけ，それを廃絶するために何をしなければならないかを理解する。 ・人種・民族紛争の実態，難民問題について理解する。 ・国境と領土問題や日本の領土問題について理解する。特に日本の領土問題についての知識を身につける。 ・国際社会における日本の役割や，国際社会の一員として私たちは何をすべきかを考える。

現代の経済社会と私たちの生活	①経済社会と経済体制 ②経済主体と企業の活動 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動 ⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化 ⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉	・経済のしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解する。 ・企業・家計・政府の活動と，企業の社会的責任について理解する。 ・企業，株式会社の特徴について調査し，まとめる。 ・市場経済のしくみについて理解する。 ・価格機構のはたらきについて理解する。 ・国民所得について理解する。 ・景気変動について理解する。 ・経済成長と生活の関係について，具体的事例をあげて考察する。 ・財政政策の意義，日本の財政課題を理解し，財政のしくみ，租税の意義と課題について，具体的に事例をあげて考察し，主体的に考える。 ・資金の流れ，金融機関の役割，日本銀行の役割について理解する。 ・日本の高度経済成長やバブル経済の要因について，理解する。 ・技術革新の進展による生活，産業構造の変化，経済のサービス化、ソフト化について，身近な問題と関連させて考察する。 ・労働者が憲法や法律で守られている理由を考え，雇用事情の変化と労働条件や労働環境を理解する。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題について，多角的に考察する。 ・日本の公害問題について理解し，公害問題と公害に対する国や企業の対応，公害を防止し環境を保全するための方策について考える。 ・消費者問題について，自分自身の問題として考察する。 ・消費者主権とは何かを考え，企業が消費者に負っている責任，消費者を保護するために国はどのような対策をとっているのかを理解する。 ・社会保障の意義を理解し，現代の社会保障の課題について考察する。
国際経済の動向と日本の役割	①国際経済のしくみと貿易拡大 ②進む経済統合 ③国際経済の動向 ④発展途上国の経済と南北問題 ⑤国際協調と日本の役割	・貿易の意義，円高円安の理由，経済のグローバル化について考える。 ・地域的経済統合をはかる動きが見られることを理解し、それによって何がもたらせるかを理解する。 ・日本の貿易やアメリカ，アジアなどの貿易について理解し，貿易の拡大とそれに伴う貿易摩擦について，具体的事例をあげて考察する。 ・南北問題の発生した原因について考え，発展途上国のかかえている問題について理解する。 ・国際協力のあり方，国際経済の中での日本の役割について自分自身の問題として考える。
現代に生きる倫理	①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的なものの考え方 ③近代の西洋思想 ④現代に生きる人間の倫理	・哲学や宗教の役割を理解するとともに，人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。 ・日本の伝統意識を理解し，生活の中での仏教や儒教，西洋思想の影響について，具体的事例をあげて考察する。 ・人間の尊厳や科学的なものの考え方，民主的社会を樹立するために必要な考え方の理解を深めるため，図版や原典資料を適切に使用する。 ・平等な社会の実現には，偏見を取りのぞき，主体的に努力することが求められていることを理解する。 ・差別を生み出す偏見について考え，それを克服して，ともに生きるために私たちは何をすべきか，自分自身の問題として捉え、課題を探究する活動を通じて考察を深めさせる。